

自立と共生！

たくましい日本！

No. 207号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2003年12月25日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

○産業界の現場に政策のヒントを 求めて

年末の挨拶と選挙のお礼もかねて、三重県関連や勉強会などでお付き合いのある企業の東京本社を訪問しています。今度の選挙で二大政党の形が見えてきたことには、誰もが歓迎してくれています。ここで、民主党が落ち着いた信頼性を作り出すことが大切で、マニフェストをさらに進化させて産業界を納得させて欲しいと言います。

経団連の中村専務は、私のワシントン時代からの先輩です。「公明党に端を発して自民党でまとめようとしている年金の保険料値上げ18%や20%の議論は、ムチャクチャだ。この半分を企業が負担して、商品の中にそれを転嫁すれば、たちまち海外との競争力をなくしてしまう。国内産業の空洞化をこれ以上進めるような政策は、日本を滅ぼす。」このことを強く訴えます。

四日市出身で三重県人会会長の、岡三証券加藤会長は、一部企業の業績改善は見られても全体の経済はどうなるのか展望が開けていない事に苛立ちを隠せない様子です。私自身も、「外人投資家によって株価がコントロールされる現実に危機感を持っている。」と訴えています。

ホンダの大久保専務は、鈴鹿の地元で最近人々のウワサにのぼっている「鈴鹿製作所が縮小するとか、撤退して中国に本拠地を移す。」とかの根も葉もない風評をととても気に病んでいます。「ホンダの中国での投資は、中国市場の拡大をにらんで中国で売るための事で、日本へ逆輸入するためではありません。日本の市場は、鈴鹿製作所で作くり続ける。鈴鹿は、ホンダの中心工場の一つですから、これからも進化を続けます。短期的には、製造車種の売れ行きで生産台数の多少の浮き沈みがあったり、部品の一部が中国から輸入されたりと言うことはありま

その他、三菱化学、味の素など四日市のコンビナート関連企業で次の世代の商品開発にしのぎを削っている姿に感銘を受けます。「優秀な技術者や研究者に四日市のような地方の工場現場で応用技術の研究開発に取り組んでもらう事はとても大切な事です。しかし、最近の若い人たちに、東京を離れて四日市に行けと言うためには、仕事の内容や、賃金のレベルだけではダメです。彼らの生活の質を満たし、子供の教育などに魅力のある地域環境が必須です。」と、本社の役員の皆さんは言います。企業の研究所も本社機能も立地の原則は、その地域の魅力、生活者の立場で住んで豊かな人生がおくれるインフラを備えた町だといえます。四日市頑張れです。

○今年も暮れます。どうぞよいお 年をお迎えください。

今年も最後の「かわら版」になります。東京は、最後の予算折衝と地方からの陳情でごった返しています。今年もあわただしく歳が暮れます。

イラクや北朝鮮の混沌とした状況は、日本の安全保障や憲法の議論に待たなしで見直しをせまっています。高速道路論議も、借金で道路を作り続けることをする限り、たとえ公団を株式会社に変えても、中味は以前と変わらないごまかしです。年金や医療、経済の再生、教育や環境。来年の冒頭から始まる通常国会や7月に迎える参議院選挙に備えて、腹を据えた議論をしていきます。マニフェストを進化させ、具体性のある、生活感覚の溢れた政権構想をつくるのが大事です。

今年も、大晦日からさまざまな行事に招待をいただいで、徹夜に近い状態になります。三が日を含めて一月中の土曜、日曜は、各地の初談会を精一杯まわって、挨拶を重ねながら皆の国政に対する思いを聴かせていただくと思っていま

すが、それだけのことです。」と、心を尽くして説明してくれました。専務には、近いうちに是非鈴鹿に入っただいて、地元に関連中小企業の皆さんにホンダの中長期ビジョンを説明する機会を持っていただくように頼みました。

JSR(日本合成ゴム)の皆さんは元気です。ICや液晶画面用の特殊な皮膜の開発が成功して、付加価値の高い商品として、この分野のシェアがどんどんのびていると言います。

す。一日に30ヶ所近い地域をまわります。

インド人の占い師と字画占いの名人が私の来年の運勢を見てくれました。両方とも、来年の私の運勢には、女難の相があると言います。乞う、ご期待？ 皆さんにとってもよい年でありますように。